

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名 やまてかんせん かんざき 山手幹線(神崎工区)		事業区分 街路事業	事業主体 兵庫県
起終点 ひょうごけんあまがさきしたかだちょう 自：兵庫県尼崎市高田町 ひょうごけんあまがさしかんざきちょう 至：兵庫県尼崎市神崎町		延長 0.8 km	
事業概要 本路線は大阪府境から尼崎市、西宮市、芦屋市を経て、神戸市に至る、阪神間各市を広域的に連絡する東西主要幹線道路であり、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、国道2号及び国道43号の交通機能を補完し、阪神間広域道路ネットワークを形成する路線である。 本事業区間は、大阪府境付近の藻川橋に接続する延長803mの現道拡幅工事である。			
S48年度事業化		S46年度都市計画決定	S48年度用地着手
S57年度工事着手			
全体事業費	60億円	事業進捗率	97%
計画交通量	15,400台/日	供用済延長	0.5 km
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 3/61億円 (事業費：3.0/60.6億円) (維持管理費：0.4/0.4億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 174/174億円 (走行時間短縮便益：166/166億円) (走行費用減少便益：4/4億円) (交通事故減少便益：4/4億円)
		基準年 平成15年	
事業の効果等 円滑なモビリティの確保(現道にバス路線有り) 災害への備え(孤立化集落の解消、緊急輸送道路の位置づけあり) 他のプロジェクトとの関係(兵庫県社会基盤整備プログラム及び尼崎市街路整備プログラムの位置づけあり) 他5項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 地元から早期4車線化の強い要望があり、尼崎市からも早期完成の要望がある。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 整備中に阪神淡路大震災が発生し、本路線の重要性が更に高まり、平成10年度より隣接する戸ノ内工区とともに事業を進めている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在、用地取得は全て完了している。既に約540mの区間において供用しており、残る藻川橋取付部の工事について、交通の切り替え等、戸ノ内工区と調整し、平成18年度に全線供用予定である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 大規模工場の補償に難航したが、平成13年度末には移転を完了し、現在、藻川橋取り付け部の工事鋭意進めている。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性及び重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			
<p>The map shows the project area in the Kansai region. It highlights the Yamate Kanzen line (山手幹線) in red, which is currently under construction. The map also shows National Route 2 (国道2号) and National Route 43 (国道43号). Key locations marked include Itoya City (伊丹市), Niigata City (尼崎市), and Osaka (大阪府). A legend (凡例) indicates that solid black lines represent completed sections, hatched lines represent sections under construction, and red lines represent the current project section. A scale bar indicates the length of the project section as 0.8 km.</p>			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

